

(案)

平成20年2月15日

大垣市長 小川 敏 様

大垣市におけるユニバーサルデザインを生かしたまちづくり研究会

座 長 鈴 木 誠

大垣市ユニバーサルデザイン推進指針（案）について（提言）

当研究会では、平成19年9月20日から、大垣市におけるユニバーサルデザインを生かしたまちづくりについて、全国の先進事例研究などを参考にしながら、大垣市の現状や課題を踏まえ、議論を重ねてまいりました。

本日、「住んでよし、訪ねてよし、すべての人に優しい、思いやりいっぱいのみち・大垣づくり」を大垣市におけるユニバーサルデザインのまちづくり理念とし、今後もこれまで大垣市が取り組んできたバリアフリーを一層推進しながら、その上で、ある特定の人のためではなく、性別・年齢・身体的特性・国籍などの違いを越えて、大垣市に住むすべての人々が安全で安心して暮らし続けられるとともに、大垣市を訪ねる人々が感動して楽しんでいただけるユニバーサルデザインのまちとなるよう、ここに「大垣市ユニバーサルデザイン推進指針（案）」を作成したので、提言します。

今後、この「大垣市ユニバーサルデザイン推進指針（案）」に基づく市民・事業者・行政の協働による取り組みが、市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまちである「かがやきライフタウン・大垣」づくりと一体的に進めることで、「飛躍」、「輝き」、「安心」を3つの柱とする「ダイナミックシティ大垣」のさらなる発展につながることを祈念いたします。